

令和7年度 学校関係者評価報告書

大阪市立桜宮小学校 学校協議会

1 総括についての評価

中期目標の達成に向けて、児童アンケートや学力・体力調査等の結果を基に現状の課題を分析し、課題解決に向けた方向性について共通理解を図りながら取組を推進してきた。その結果、一定の成果が見られ、本年度の結果は概ね妥当なものであると捉えている。また、以上の結果概要について「運営に関する計画」最終評価の結果を提示しながら教育活動についての説明を行い、様々な意見をいただいた。これらの意見を整理・総括し次年度の取組に繋げていく。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を90%以上にする。
- 校内アンケートの「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。
- 校内アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を95%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

- ・『令和7年度の小学校学力経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を、90%以上にする。』については、88.4%であった。全市共通目標である『令和7年度の小学校学力経年調査において、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な回答する児童の割合を、87%以上にする。』は上回ることはできたものの、学校園での目標では下回った。今後も「いじめは絶対にあってはならない」という意識を向上させる働きかけを行うとともに、児童一人ひとりに寄り添った指導を意識し、児童が安心して過ごす安全な場としての学校づくりを進めていく。
- ・『校内アンケートの「学校は楽しいですか」の項目で肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。』については98.3%であり、目標を達成できた。
- ・『校内アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目で肯定的に答える児童の割合を95%以上にする。』についても、97.6%であり、目標を達成することができた。今後も、ファミリー活動や学級活動を充実させる取組を継続して行い、楽しい学校生活が送れるようにする。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。
- 令和7年度の新体力テストにおいて、体力合計点で大阪市平均を上回る。
- 校内アンケートの「体育科の学習以外で、運動場に出て体を動かしていますか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

- ・『令和7年度の小学校学力経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」の項目について、肯定的な「思う」と回答する児童の割合を82%以上にする。』については86.3%であり、目標を上回った。今後も授業の中で話し合い活動や教え合いの場面を積極的に取り入れることで児童が自分の考えを深められるようにする。
- ・『令和7年度の新体力テストにおいて、体力合計点で大阪市平均を上回る』については、全国を50.0と見たとき、男子は桜宮小51.5、大阪市48.5、女子：桜宮小51.6、大阪市48.5となり、目標を達成することができた。
- ・『校内アンケートの「体育科の学習以外で、運動場に出て体を動かしていますか」の項目で、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。』については94.9%であり、目標を達成することができた。今後も休み時間には教職員も運動場に出て、児童と交流しながら運動することで、児童の体力向上にもつなげていくようにする。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 令和7年度末の校内アンケートの「学習活動の中で学習者用端末を活用することができますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする。
- 時間外勤務時間を市平均以下にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。

- ・『令和7年度末の校内アンケートの「学習活動の中で学習者用端末を活用することができますか」の項目で、肯定的に答える児童の割合を、90%以上にする。』については、97.9%であり、目標を達成することができた。デジタルドリルやインターネットを活用した調べ学習、タイピングの学習(らっこたん)などを日常的に取り入れることで、学習者用端末を学習のツールとして活用できるようになってきていることにつながった。
- ・「時間外勤務時間を市平均以下にする。」については、2月までの大阪市平均が22時間02分、桜宮小が27時間00分となり、目標を達成できなかった。しかし、2学期から教職員一人ひとりが退勤予定時刻を自ら設定し、出勤札

に色別マグネットを用いて示す「見える化」に取り組んできた。その結果、退勤時刻までの業務の見通しをもち、優先順位を意識して仕事を進めることが習慣化してきている。実際11月以降、時間外勤務時間の減少がみられ、取組の効果が表れてきている。今後も公開研修や会議の精選、授業時数の見直しに加え、教職員の働き方への意識向上を図り、持続可能な働き方改革を行っていくようにする。

3 今後の学校運営についての意見

「運営の計画・自己評価」の最終評価をもとに、今後の学校運営について、以下の意見があった。

これらの意見を総括し、次年度の学校の取組に繋げていく。

- いじめ・不登校対策について効果を上げている。不登校児童が0人ということがとてもすごい。また、子どもたちがとても落ち着いている。教職員が日ごろから子どもたちとしっかり向き合い、関わっている結果である。これまで通りお願いしたい。
- 中学校への進学後も不登校を防ぐために、小学校から中学校への継続的な支援が必要である。その部分における小中連携も必要になってくる。
- ファミリー活動（たて割り班活動）の成果が出ている。
- 保幼小連携について、非常に効果的に取り組まれている。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、体力合計点が大阪市だけでなく、全国の平均点よりも上回っていることが素晴らしい。休み時間や体育科の学習で十分に運動する機会を生み出していることや本校独自の「桜の力」を活用して子どもたちの運動意欲を高めたことが結果に表れている。
- 教職員の業務や働き方改革については、他の職種と単純に比較できない側面がある。より分かりやすい授業を行うためには、授業準備に一定の時間と工夫が必要であり、時間だけで区切ることが難しい部分があると思う。そのため、保護者の理解をさらに深められるように、実情を発信していくとよい。
- たくさんの業務や対応があり、毎日とても大変だと思う。先生たち自身の体にも気を付けて無理せずやってほしい。